

## ● 地域連携の在り方

地域子育て支援、小学校連携、防災意識の向上等について園内では、以下のことを実施できましたが、課題は多く残っています。

## ◆ 子育て相談会について

・平成29年度は、在園児保護者対象に、元くまもと江津湖療育医療センターで臨床心理士として相談業務に携わっておられた尾道幸子先生に来園いただき、子どもの観察1時間、保護者への助言の1時間の相談会を実施、5名の保護者が相談された。その後、発達支援センターで発達検査を受け、小学校の就学支援にもつながった園児もいた。

・また、おひさまクラブの園田道子先生にも保護者へのアドバイスを依頼することもあり保護者も子どもを理解されていた。

・在園児の保護者から電話の相談もあり、相談したことで安心されることもあった。

## ◆ 小学校連携について

・就学前には、各学校で円滑に過ごせるように小学校から来園いただき年長担任と話し合いの場を設け情報提供を行った。また、支援の必要な子どもについては、特別支援シートを作成し保護者から学校へ渡せるようにし、特別支援の子どもでなくても、保護者から要望があり、作成した。(参考資料：特別支援シート)

## ◆ 意見・要望等の受付について

## ① 年長男児の指をフェンスに挟んでの骨折について

骨折一週間後、目じりをフェンスの針金でひっかき傷ができた。

続けて、二度の怪我があり、事故の検証と事故防止対策は、どうなっているかとお叱りがあった。

<安全対策> 事故が起こった場所を再点検し、他の場所も再々点検をする。

『けがをさせない保育』という資料を全保育者で読み、危機管理意識を持つよう指導した。園長不在時と事故だったため、園長が帰ってから、話をしたいので時間をつくっていただくようお願いした。

## ② 年長男児が、「年中男児や年長男児から“押したくられる”から嫌だ。」と母親からメールが届く。

<対応>園長よりメールをし、年長クラスで話し合うこと、年中児については、今保護者と対応中であることを伝え、園長から話をしたいと伝えた。

## ③ 匿名での『意見・要望等受付ポスト』に投函

## ・運動会について

運動会の会場である北部公園のトラックからテントを離してテントを横並び建てて欲しい。本部横に『撮影用テント』を建てて欲しい。などテントの建て方についての要望が書かれていた。

<対応>要望に応えられるように工夫した。

## ◆ 地域交流について

・昨年度は、当番で北部フェスタにも、年長児が参加したが、今年度はチャレンジ明德フェスタのみ参加した。

・幼稚園ファームが農業指導員村山さんの元、スタートし、給食の食材として利用したり、地域の農業をされている方との情報交換をしたりと地域交流があった。また、親子ふれあい農園参加を募集し、第1回目は“じゃがいも畑づくり”を計画し、農作業の楽しさを味わっているところです。収穫後は、じゃがいも料理教室も予定しています。今後は、大根畑づくりの農作業や漬物づくり等を実施する予定です。

◆ 昨年度の外部評価委員会でのご意見から実施できたこと

- かなこぎ苑さんの協力により、「園舎火災で第二避難をすることが必要という想定」でかなこぎ苑への避難訓練を実施することができた。
- 図書室の利用として、第三者委員の舩島和子さんの協力のもと、親子貸出しが実施できた。  
『子育てひろば“ぽっかぽか”』に参加されていた未就園児の保護者も利用されたが、仕事をされている方の図書室使用がなかった。

〔今後の課題〕

- 『子育てひろば“ぽっかぽか”』や図書貸し出し・園庭解放などを知らせるために定期的に案内紙を作成し、北部公民館等においてもらうなどし、実施できるようにしたい。
- 外部の方の子育て相談について  
『子育てひろば“ぽっかぽか”』に参加時や園庭解放や図書室利用などで来園された時、お母さん方のSOSを掴み、時には、専門職の方への相談へとつなげられたらと思う。